

新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

第五十九話

「御料地とアイヌ協会（語り）」

（要約文）

戦争が終わったのは、昭和20年8月15日でしたから、昭和21年に静内の公民館に全道のアイヌ民族の代表が集まって、二日間の大会が開かれました。私がまだ三十代の頃だったと思います。その大会では、御料牧場を解放してもらうことを基本とする方向で決議されたのです。それから解放運動を展開するため、新冠にアイヌ協会を立ち上げたのです。

御料牧場時代、義務人夫という月に何回か牧場へ働きに行かなければならない人達がいました。戦後、この方々が小作協同組合を結成して解放運動の旗印になりました。また、牧場の元職員で結成された帰農同盟という組織もありました。これにアイヌ協会を含めた三つの組織が一緒になって解放運動に取り掛かりました。運動が功を奏し、新冠の御料地は全面解放となったのです。しかし、今度はみんな土地がほしいものだから幾度か争いごとになり、警察が出るような騒ぎになったことがありました。

アイヌの人は、大正5年に御料牧場の都合で平取の上貫気別に強制移住させられたことがありました。戦後になって御料地が

解放になり、移住させられた人が帰ってくることになりました。荷物をトラックに積みましたが、たくさん積むことができないので、あふれた荷物は自分たちが担いで、厚賀沢の山道を歩きました。私たちはアイヌという名前を抱えていたから昔は差別の多い時代でしょう、だいぶもめたことがありました。その後、ようやく入植することができ、割り当たった土地にまつさきに小屋を建てました。でも、支庁の人が行った測量がだいぶずれていた。当時の測量は正確ではなかったのです。

上貫気別から入植した年配のおばあさんは、踊りとかアイヌ文化を守ってきました。その頃には、成人のアイヌ女性の証しである入れ墨を口にしていた人がたくさんいました。私達はまだ若かったし、入植したばかりということで仕事を一生懸命したけど、そういう人達はアイヌ文化を守り、後世へと受け継いでいったのです。



【儀式を行う現在の新冠アイヌ協会】戦後に結成されたアイヌ協会は、新しいポロシリ生活館を拠点に、今も脈々とアイヌ文化を未来に受け継いでいる。

秋の全国交通安全運動（9/21～9/30）が実施されます！

- 子供と高齢者をはじめとする歩行者の安全の確保
 - 夕暮れ時と夜間の事故防止と歩行者の保護など安全運転意識の向上
 - 自転車の安全確保と交通ルール遵守の徹底
 - 飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶
- 静内警察署

火災・救急出動状況		（ ） かつこ内は前年同期	
区分	火災件数	救急件数	
7月	0件（0件）	34件（33件）	
5年1～7月	3件（6件）	201件（206件）	
交通事故発生状況		（ ） かつこ内は前年同期	
区分	発生件数	死者	傷者
7月	1件（0件）	0人（0人）	1人（0人）
5年1～7月	2件（5件）	0人（0人）	2人（8人）

人のうごき

（7月末現在）

人口	5,174人	（前月比 + 2人）
男	2,580人	（前月比 + 6人）
女	2,594人	（前月比 - 4人）
世帯	2,820世帯	（前月比 + 6世帯）

戸籍の窓

6月21日～7月20日までの届出分（敬称略）

●いつまでもお幸せに

尾崎 健人 ♡ 金 美穂 北星町

●お誕生おめでとうございます

宮本 莉空（^{りく}智 ^{パバ}優希）北星町

梅木 ^{はるか}悠（翔平 舞子）高江

●おくやみ申し上げます

吉田 サダ 99歳 共栄

山本 照子 92歳 節婦町

伊野 隆晴 90歳 東町

☆広報に掲載してほしくない方は届出のとき、町民生活課住民係へお申し出ください。

●お問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ住民係

☎ 0146・47・2112